

国中整鳥一工第25号
令和 8年2月12日

千代川流域治水協議会 委員 各位

(千代川流域治水協議会事務局)
国土交通省中国地方整備局
鳥取河川国道事務所長
(公印省略)

第12回千代川流域治水協議会の開催（書面）について

平素より流域治水プロジェクトにご理解とご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

これまで当協議会では、昨今の気候変動の影響による頻発化・激甚化する降雨状況を踏まえ、流域治水の取組を更に加速化・深化させるため、「流域治水プロジェクト2.0」を公表しております。この度、規約改正、千代川流域治水プロジェクト2.0更新、内外水リスクマップの公表につきまして、内容をご確認いただき協議会事務局まで書面表決書のご提出をお願い申し上げます。なお、表決結果は後日事務局からお知らせいたします。

記

1. 議事内容

- (1) 規約の改正について
 - ・ 組織名称変更
- (2) 流域治水プロジェクト2.0の更新について
- (3) 内外水リスクマップの公表について

2. 送付資料

- ・ 書面開催案内
- ・ 書面表決書
- ・ 千代川流域治水協議会規約（見え消し）
- ・ 千代川水系流域治水プロジェクト2.0（見え消し）
- ・ 内外水リスクマップ（公表用）

3. 提出期限及び提出先（メール提出可）

期 限：令和8年2月27日（金）

提出先：千代川流域治水協議会事務局

国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

担当：千代川流域治水室 室長 清綱 (kiyotsuna-y87em@mlit.go.jp)

工務第一課 課長 千熊 (chikuma-t87df@mlit.go.jp)

T E L : 0857-22-8435

書面表決書

令和 8 年 月 日

協議会委員： _____

第 1 2 回千代川流域治水協議会における下記議案について、次のとおり表決します。

照会内容	賛 成	反 対
<u>議案（1）</u> 規約の改正について		
<u>議案（2）</u> 流域治水プロジェクト 2. 0の更新について		
<u>議題（3）</u> 内外水リスクマップの公表について		

「賛成」・「反対」いずれかの欄に○印を記入してください。

（ご意見等あれば記入して下さい。）

担当者名： _____

※書面表決書について、令和8年2月27日（金）までに下記担当までメールにて提出をお願いします。

千代川流域治水協議会事務局

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

担当：千代川流域治水室 室長 清綱 (kiyotsuna-y87em@mlit.go.jp)

工務第一課 課長 千熊 (chikuma-t87df@mlit.go.jp)

T E L : 0857-22-8435

千代川流域治水協議会規約

(設置)

第1条 「千代川流域治水協議会」(以下「協議会」)を設置する。

(目的)

第2条 本協議会は、令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、千代川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とする。

(協議会の構成)

第3条 協議会は、別表1の職にある者をもって構成する。

- 2 協議会は、必要に応じて第1項による委員以外の者の出席を要請し、意見を聴くことができる。

(協議会の実施事項)

第4条 協議会は、次の各号に掲げる事項を実施する。

- 1 千代川流域で行う流域治水の全体像を共有・検討。
- 2 河川に関する対策、流域に関する対策、避難・水防等に関する対策を含む、「流域治水プロジェクト」の策定と公表。
- 3 「流域治水プロジェクト」にもとづく対策の実施状況のフォローアップ。
- 4 その他、流域治水に関して必要な事項。

(ワーキンググループ)

第5条 協議会の円滑な運営を行うため、協議会の下にワーキンググループを置く。

- 2 ワーキンググループは、別表2に掲げる組織の構成員をもって構成する。
- 3 ワーキンググループは、必要に応じて第2項による構成員以外の者の出席を要請し、意見を聴くことができる。

(会議の公開)

第6条 協議会は、原則として公開とする。ただし、審議内容によっては、協議会に諮り、非公開とすることができる。

- 2 ワーキンググループは、原則非公開とし、審議の結果を協議会へ報告することにより、公開と見なす。

(協議会資料等の公表)

第7条 協議会に提出された資料等については速やかに公表するものとする。ただし、個人情報等で公表することが適切でない資料等については、協議会の了解を得て公表しないものとする。

- 2 協議会の議事については、事務局が議事概要を作成し、出席した構成員の確認を得た後、公表するものとする。

(雑則)

第8条 この規約に定めるもののほか、協議会の議事の手続きその他運営に関し必要な事項については、協議会で定めるものとする。

(事務局)

第9条 協議会の庶務を行うため、事務局を置く。

- 2 事務局は、鳥取県 県土整備部河川港湾局河川課、国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所が務める。

(附則)

第10条 本規約は、令和2年7月21日 から施行する。

一部改定 令和3年3月15日

一部改定 令和4年2月24日

一部改定 令和6年1月30日

一部改定 令和7年3月14日

一部改定 令和8年2月27日

千代川流域治水協議会 委員

(委員) 鳥取市長
若桜町長
智頭町長
八頭町長
鳥取県 危機管理部長
鳥取県 県土整備部長
鳥取県 生活環境部長
林野庁 近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署長
国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所長
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター
鳥取水源林整備事務所長
鳥取地方気象台長

(オブザーバー)

農林水産省 中国四国農政局 ~~農村振興部—洪水調節機能強化対策官~~
地方参事官 (各省調整)

千代川流域治水協議会 ワーキンググループ

(ワーキンググループ)	鳥 取 県	危機管理部	危機管理政策課	
		県土整備部	河川港湾局 河川課	
			河川港湾局 治山砂防課	
		生活環境部	自然共生社会局 水環境保全課	
			くらしの安心局 まちづくり課	
		農林水産部	農業振興局 農地・水保全課	
			森林・林業振興局 森林づくり推進課	
		鳥 取 市	危機管理部	危機管理課
			都市整備部	都市企画課
				河川公園課
	下水道部	下水道企画課		
若 桜 町	地域整備課			
智 頭 町	税務住民課			
	地域整備課			
八 頭 町	総務課	防災室		
	建設課			
	上下水道課			
	産業観光課			
	林野庁	近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署		
	国土交通省	中国地方整備局 鳥取河川国道事務所		
	国立研究開発法人森林研究・整備機構	森林整備センター		
		鳥取水源林整備事務所		
	鳥取地方气象台			

(オブザーバー)

農林水産省 中国四国農政局 農村振興部設計課

※ワーキンググループメンバーの構成は、流域治水プロジェクトを幅広く検討するために、メニューの有無を問わないことを前提としています。

流域治水プロジェクト2.0

～流域治水の加速化・深化～

- 気候変動の影響により当面の目標としている治水安全度が目減りすることを踏まえ、流域治水の取組を加速化・深化させる。このために必要な取組を反映し『流域治水プロジェクト2.0』に更新する。

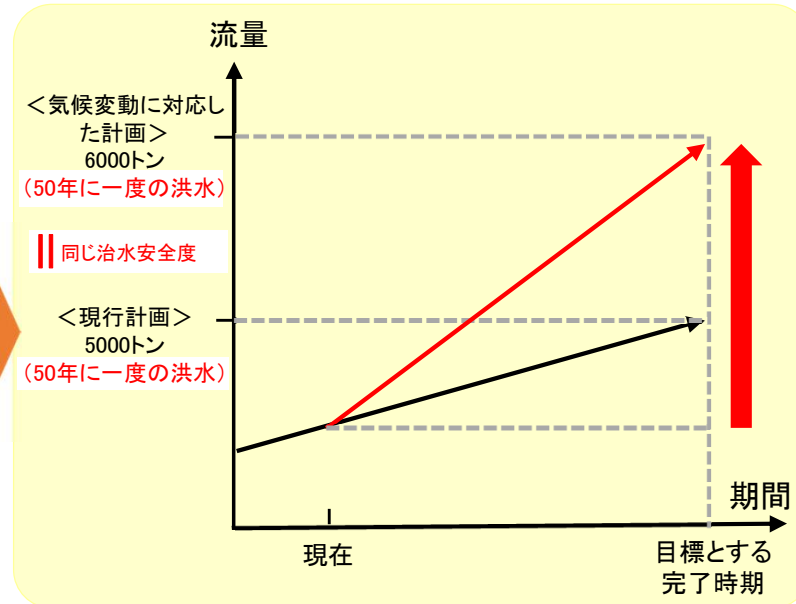
現状・課題

- 2℃に抑えるシナリオでも2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍になると試算
- 現行の河川整備計画が完了したとしても治水安全度は目減り
- グリーンインフラやカーボンニュートラルへの対応
- インフラDX等の技術の進展

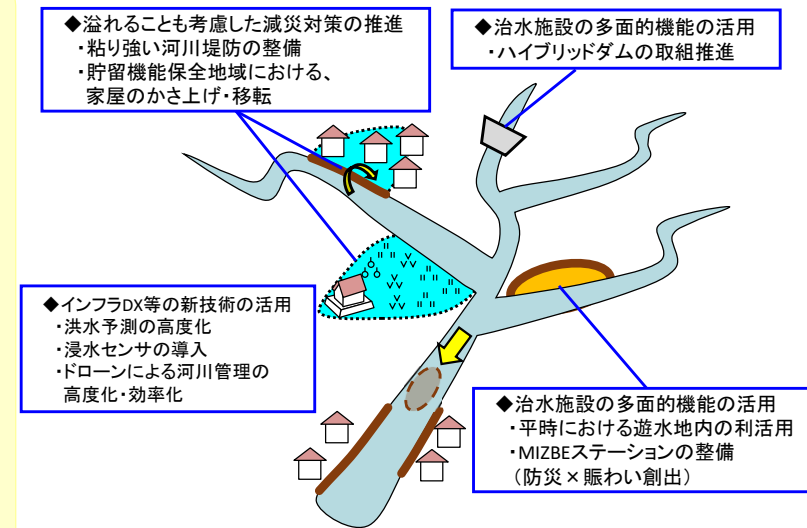
必要な対応

- 気候変動下においても、目標とする治水安全度を現行の計画と同じ完了時期までに達成する
- あらゆる関係者による、様々な手法を活用した、対策の一層の充実を図り、流域治水協議会等の関係者間で共有する。

必要な対応のイメージ



様々な手法の活用イメージ



降雨量が約1.1倍となった場合

気候変動シナリオ	降雨量 (河川整備の基本とする洪水規模)
2℃上昇	約1.1倍

全国の平均的な傾向【試算結果】	流量
	約1.2倍

同じ治水安全度を確保するためには、
目標流量を1.2倍に引き上げる必要

※現行の計画と同じ完了時期までに目標とする治水安全度を達成するため、
様々な手法を活用し、集中的に整備を進めることが必要

⇒現在の河川整備計画に基づく対策や流域における各取組を推進するとともに、気候変動を踏まえて追加で必要となる対策案の詳細については、更に議論を深めていく。

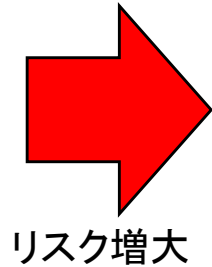
気候変動に伴う水害リスクの増大

R8.2更新

○戦後最大流量を記録した昭和54年10月洪水に対し、気候変動を考慮し降雨量を1.1倍した洪水が発生した場合、千代川流域では浸水世帯数が約12,700世帯になると想定され、事業の実施により、浸水被害が解消される。

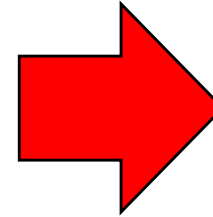
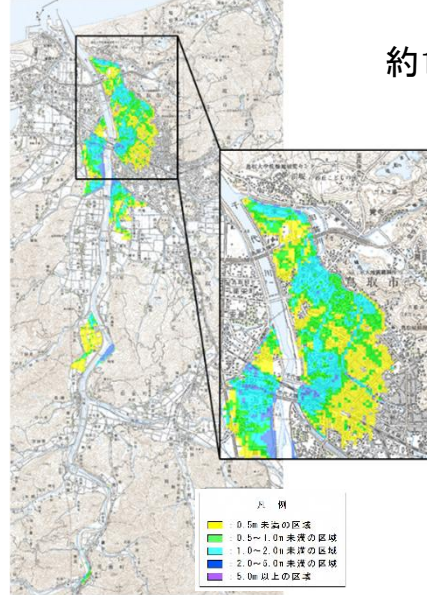
■気候変動に伴う水害リスクの増大

浸水世帯数
約0世帯



リスク増大

浸水世帯数
約12,700世帯※1



対策後

浸水世帯数
約0世帯



<気候変動考慮前>

<気候変動考慮後(1.1倍)>

<対策後>

※1 千代川水系(大臣管理区間)全体での外水による浸水世帯数を示す。

■水害リスクを踏まえた各主体の主な対策と目標

【目標①】気候変動による降雨量増加後の昭和54年10月洪水規模に対する安全の確保

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
氾濫を防ぐ・減らす	国	約12,700世帯の浸水被害を解消	河道掘削: 約100万m ³ (現計画の10倍) 堰改築: 5箇所 堤防整備: 約400m	概ね20年間
被害対象を減らす	鳥取県 鳥取市、若桜町、智頭町、八頭町	安全なまちづくり	土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え支援	継続実施
	鳥取市	安全なまちづくり	災害リスクを踏まえた立地適正化計画策定および居住誘導区域の設定	継続実施
被害の軽減・早期復旧・復興	国	水害リスク情報の充実	水害リスクデジタルマップの拡充・オープンデータ化(DX)	概ね5年

【目標②】国府地区における内水被害の軽減(1/7規模降雨の雨水出水による浸水被害を防止)

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
氾濫を防ぐ・減らす	鳥取市	浸水の防止・軽減	下水道等の排水施設の整備	令和8年

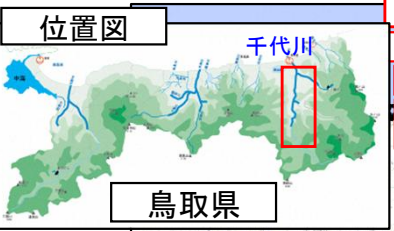
千代川水系流域治水プロジェクト【位置図】

R8.2更新

～流域の人々とともに因幡の治水対策を推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、千代川水系においても、以下の取り組みを一層推進していくものとし、更に国管理区間においては、気候変動（2℃上昇）下でも目標とする治水安全度を維持するため、戦後最大流量を記録した昭和54年10月洪水に対し2℃上昇時の降雨量増加を考慮した雨量1.1倍となる規模の洪水を安全に流下させることを目指し、浸水被害の防止又は軽減を図るとともに、多自然川づくりを推進します。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指します。

○気候変動の影響に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化という新たな課題や、流域の土地利用の変遷に伴う保水・遊水地域の減少等を踏まえ、将来に渡って安全な流域を実現するため、浸水リスクが高い地域において特定都市河川浸水被害対策法の指定の検討も含め、更なる治水対策を推進します。



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道掘削、河道拡幅、堤防整備、堰改築、放水路整備、護岸、浚渫、樹木伐採 等の一層推進
- 河道掘削土の有効活用(サンドリサイクル)による海岸侵食対策
- 利水ダム等を含む5ダムにおいて事前放流等の実施(関係者:国、鳥取県、中国電力(株))
- ダムの適切な管理(長寿命化対策)
- 下水道等の排水施設の整備・**ポンプ設備増設**
- 砂防関係施設の整備・長寿命化対策
- 治山施設の整備・長寿命化対策
- 間伐等による森林整備
- 「田んぼダム」による流出抑制対策の推進
- 雨水貯留タンクの試行設置・普及、プール貯留の試行**

■ 被害対象を減少させるための対策

- 土砂災害特別警戒区域内に所在する住宅や避難所の建替え等の支援
- 災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導区域の設定

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 水位計・監視カメラの設置
- マイ・タイムラインの作成や避難スイッチ決定に係る支援
- 支え愛マップの取組支援等による地域の防災体制づくり
- 防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
- あんしんトリビーマール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
- 要配慮者が確実に避難できる避難計画作成等の支援
- 感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備
- 内水ハザードマップやため池ハザードマップの作成 等
- 浸水深表示板の設置
- 土砂災害警戒区域等指定による土砂災害防止対策推進
- 土砂災害警戒情報と危険度情報の提供
- インフラDXIにおける新技術の活用
- 気象情報の充実、予測精度の向上
- 中小河川の浸水想定区域図の作成



昭和54年10月洪水による浸水状況
床上床下浸水戸数1,355戸

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

氾濫を防ぐ・減らす

- 気候変動を踏まえた治水計画への見直し
(2℃上昇下でも目標安全度維持)
- < 具体の取組 >
 - ・気候変動を考慮した河川整備計画に基づくハード対策
(河道掘削、堰改築 等の一層推進)
- 役割分担に基づく流域対策の推進
- < 具体の取組 >
 - ・下水道等の排水施設の整備
 - ・砂防関係施設の整備
 - ・治山施設の整備
 - ・間伐等による森林整備
 - ・**雨水貯留タンクの試行設置・普及、プール貯留の試行**
- 既存ストックの徹底活用
- < 具体の取組 >
 - ・利水ダム等を含む5ダムにおいて事前放流等の実施
 - ・「田んぼダム」による流出抑制対策の推進
 - ・河道掘削土の有効活用(サンドリサイクル)による海岸侵食対策

被害対象を減らす

- 溢れることも考慮した減災対策の推進
- < 具体の取組 >
 - ・土砂災害特別警戒区域内に所在する住宅や避難所の建替え等の支援
 - ・**災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導区域の設定**

被害の軽減・早期復旧・復興

- 気候変動を踏まえた治水計画への見直し
(2℃上昇下でも目標安全度維持)
- < 具体の取組 >
 - ・気候変動を考慮した河川整備計画に基づくソフト対策
- 役割分担に基づく流域対策の推進
- < 具体の取組 >
 - ・内水ハザードマップやため池ハザードマップの作成等
 - ・土砂災害警戒区域等指定による土砂災害防止対策推進
 - ・土砂災害警戒情報と危険度情報の提供
 - ・水位計・監視カメラの設置
 - ・浸水深表示板の設置
- 溢れることも考慮した減災対策の推進
- < 具体の取組 >
 - ・防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
 - ・感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備
 - ・マイ・タイムラインの作成や避難スイッチ決定に係る支援
 - ・支え愛マップの取組支援等による地域の防災体制づくり
 - ・あんしんトリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
 - ・要配慮者が確実に避難できる避難計画作成等の支援
- インフラDX等の新技術の活用
- < 具体の取組 >
 - ・洪水予測の高度化
 - ・河川管理施設の自動化・遠隔化
 - ・三次元河川管内図の整備(DX)
 - ・BIM/CIM適用による三次元モデルの積極的な活用(DX)
 - ・水害リスクデジタルマップの拡充・オープンデータ化(DX)
 - ・気象情報の充実、予測精度の向上等
 - ・中小河川の浸水想定区域図の作成

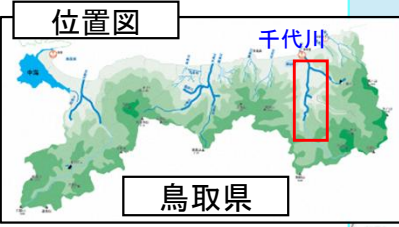
千代川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～流域の人々とともに因幡の治水対策を推進～

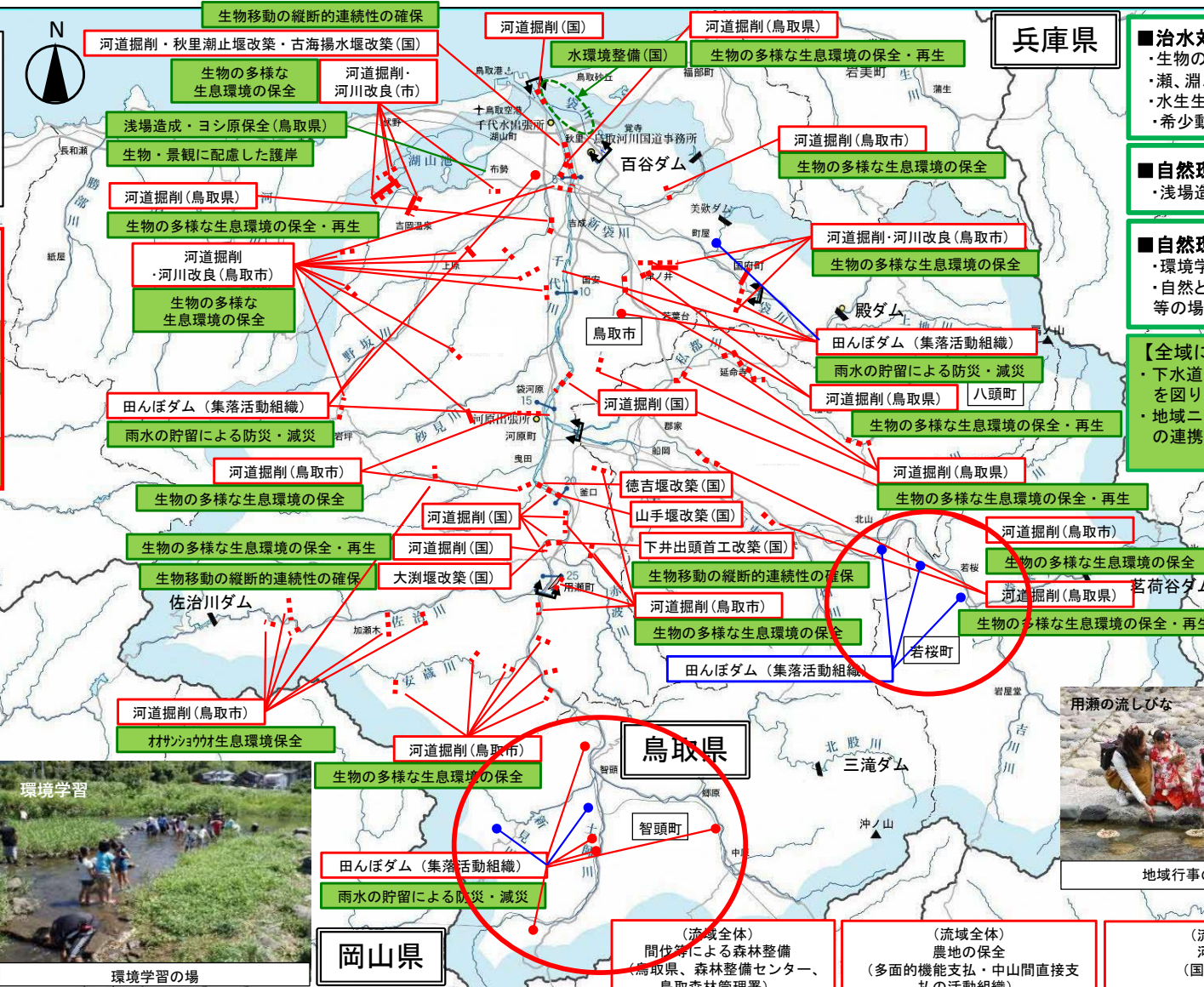
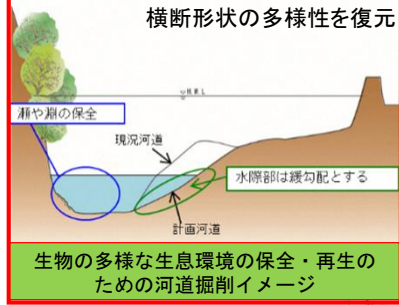
●グリーンインフラの取組 『多様な動植物の生息・生育環境の保全・再生と水質改善』

- 千代川は、その源を沖ノ山に発し、上流部では中生代ジュラ紀の三郡変成岩（千枚岩）が形成され、下流部では縄文海進（じょうもんかいしん）により出現した古鳥取湾が千代川から運ばれる土砂により埋められ形成された鳥取平野が広がっており、河口部は渡り鳥の飛来地になっているほか、本川、支川においても豊かで多様な動植物が息つき良好な景観が形成されている等、次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在しています。
- 千代川水系においては、河道掘削、堰改築等にあたり、動植物の生息・生育環境の保全・再生を目標として、今後概ね20年間で魚類等生物移動の縦断的連続性を確保、また清らかな水の流れを再生するための袋川の水質改善を検討するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進します。

位置図



横断形状の多様性を復元



兵庫県

- 治水対策における多自然川づくり
 - ・生物の多様な生息環境の保全・再生
 - ・瀬、淵、礫河原などの緩傾斜河岸の保全
 - ・水生生物移動の縦断的連続性の確保
 - ・希少動植物の生息環境の保全
- 自然環境の保全・復元などの自然再生
 - ・浅場造成・ヨシ原保全
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組
 - ・環境学習への場の提供
 - ・自然とのふれあい、地域行事やレクリエーション活動等の場の確保



- 【全域に係る取組】
 - ・下水道等関連事業、関係機関、及び地域住民と連携を図り、良好な水質を保全
 - ・地域ニーズを踏まえた販売のある水辺空間創出への連携・支援

- 凡例
- 堤防整備
 - 堤防強化(浸透対策等)
 - 河道掘削、樹木伐採等
 - ↔ 大臣管理区間
 - 千代川流域界

- : 治水メニュー
- : グリーンインフラ関連メニュー

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

岡山県

- (流域全体) 間伐等による森林整備 (鳥取県、森林整備センター、鳥取森林管理署)
- (流域全体) 農地の保全 (多面的機能支払・中山間直接支払の活動組織)
- (流域全体) 河川掘削 (国・鳥取県)
- (流域全体) 治山・砂防施設の整備 (鳥取県、鳥取森林管理署)
- 雨水の貯留・浸透による防災・減災 (県)
- 良好な景観、地域社会形成 (県)
- 生物の多様な生息環境の保全・再生 (国・県)
- 環境学習への場の提供 等 (国)

千代川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～流域の人々とともに因幡の治水対策を推進～

R8.2更新

- 千代川では、流域全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】鳥取市街地等で、氾濫防止を目的とした河道掘削や築堤、内水対策等を実施する。また、水位計・監視カメラの設置による情報提供等を実施し、被害軽減に努める。
 - 【中期、中長期】気候変動を考慮し、より大規模の洪水による浸水被害を防ぐための検討を行い、更なる対策を推進する。また、あわせて、逃げ遅れゼロを目指した、マイ・タイムライン作成や内水ハザードマップの作成などソフト対策や浸水表示板の設置等を継続的に実施する。

【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

■グリーンインフラの取組 詳細次ページ

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	袋川の氾濫を防ぐ堤防整備	鳥取河川国道事務所	湯所地区		
	千代川上流の氾濫を防ぐ河道掘削、堰改築	鳥取河川国道事務所	美成地区	港町・浜坂、商栄・秋里、稲常地区	
	千代川の堤防の浸透を防ぐ浸透対策	鳥取河川国道事務所	向国安地区	源田、円通寺、渡一木、曳田、江津・浜坂・青葉町、米岡地区	
	県管理区間の氾濫を防ぐ河道掘削、河道拡幅、樹木伐採、堤防整備、放水路整備	鳥取県	野坂川、湖山川、私都川、砂田川の整備		
			大路川、大井手川、八東川の整備		
			上記以外の箇所の河道拡幅、堤防整備		
			県管理区間全体の河道掘削、樹木伐採		
	県管理区間の氾濫を防ぐ特定構造物の改築	鳥取県	大路川、湖山川の特定構造物（水門、排水機場等）の改築等		
	県管理区間の堤防の浸透を防ぐ浸透対策	鳥取県	八東川の浸透対策		
	湖山地の氾濫を防ぐ護岸、浅瀬	鳥取県	湖山地の護岸整備等		
	下流域の氾濫を防ぐためダムの適切な管理（長寿命化対策）	鳥取県	佐治川ダム、百谷ダムの適切な管理（長寿命化対策）		
	治山・砂防施設の整備、長寿命化	鳥取県、鳥取森林管理署	治山・砂防施設の整備、長寿命化		
	準用河川及び普通河川の氾濫を防ぐ河道掘削、河川改良	鳥取市	小規模河川の整備		
準用河川及び普通河川の氾濫を防ぐ内水対策	鳥取市、八頭町	排水施設、排水機場施設の整備、増設			
洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織	大路川周辺地域、河内、稲常、向国安、里仁、岡崎町美野、八東川周辺地域、智頭町尾見、市瀬、新倉川周辺地域、土師川周辺地域など			
洪水の流出を抑制する雨水貯留タンクの試行設置・普及、プールの貯留の試行	鳥取県	大路川周辺地域、湖山川、野坂川、大井手川ほか周辺地域など			
間伐等による森林整備	鳥取県、森林整備センター、鳥取森林管理署	間伐等による森林整備			
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内に所在する住宅や避難所の建替え等の支援	鳥取県及び関係流域市町	流域内での対応		
	災害リスクを踏まえた立地適正化計画策定および居住誘導区域の設定	鳥取市	立地適正化計画策定および居住誘導区域の設定		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	浸水深表示板の設置	鳥取県	流域内での対応		
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県	流域内での対応		
グリーンインフラの取組	千代川の氾濫を防ぐ堰改築に伴う、水生生物移動の経断的連続性の確保	鳥取河川国道事務所	美成地区		
	千代川の氾濫を防ぐ河道掘削に伴う、生物の多様な生息環境の保全・再生	鳥取河川国道事務所	美成地区		
	環境学習への場の提供 等	鳥取河川国道事務所	千代川・袋川・新袋川・八東川		
	県管理区間の氾濫を防ぐ河道掘削に伴う、生物の多様な生息環境の保全・再生	鳥取県	県管理区間全体の河道掘削		
	治山・砂防施設の整備に伴う、生物・景観に配慮した施設	鳥取県	治山・砂防施設の整備		
	浅場造成に伴う、生物・景観に配慮した護岸	鳥取県	湖山地の浅場整備		
	農地の保全に伴う、良好な景観、地域社会形成	鳥取県	流域全体		

■事業規模
 河川対策（約395億円）
 下水道対策（約37億円）

千代川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～流域の人々とともに因幡の治水対策を推進～

R8.2更新

- 千代川では、流域全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】鳥取市街地等で、氾濫防止を目的とした河道掘削や築堤、内水対策等を実施する。また、水位計・監視カメラの設置による情報提供等を実施し、被害軽減に努める。
 - 【中期、中長期】気候変動を考慮し、より大規模の洪水による浸水被害を防ぐための検討を行い、更なる対策を推進する。また、あわせて、逃げ遅れゼロを目指した、マイ・タイムライン作成や内水ハザードマップの作成などソフト対策や浸水表示板の設置等を継続的に実施する。

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

●グリーンインフラの取り組み 『多様な動植物の生息・生育環境の保全・再生と水質改善』

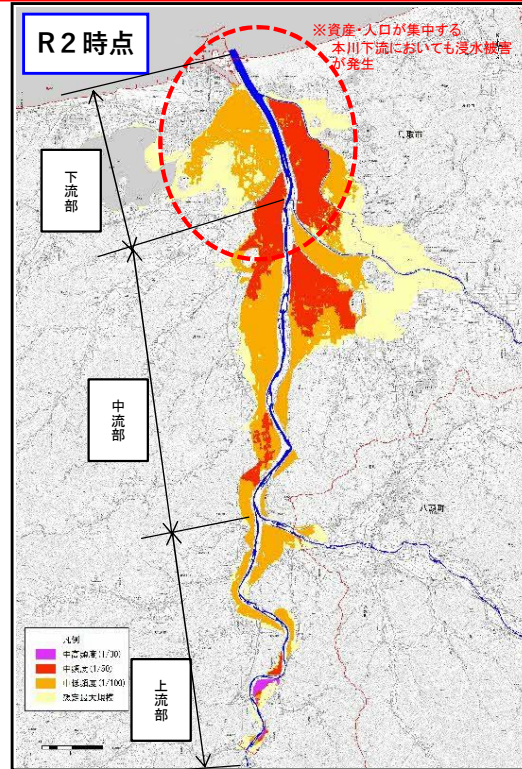
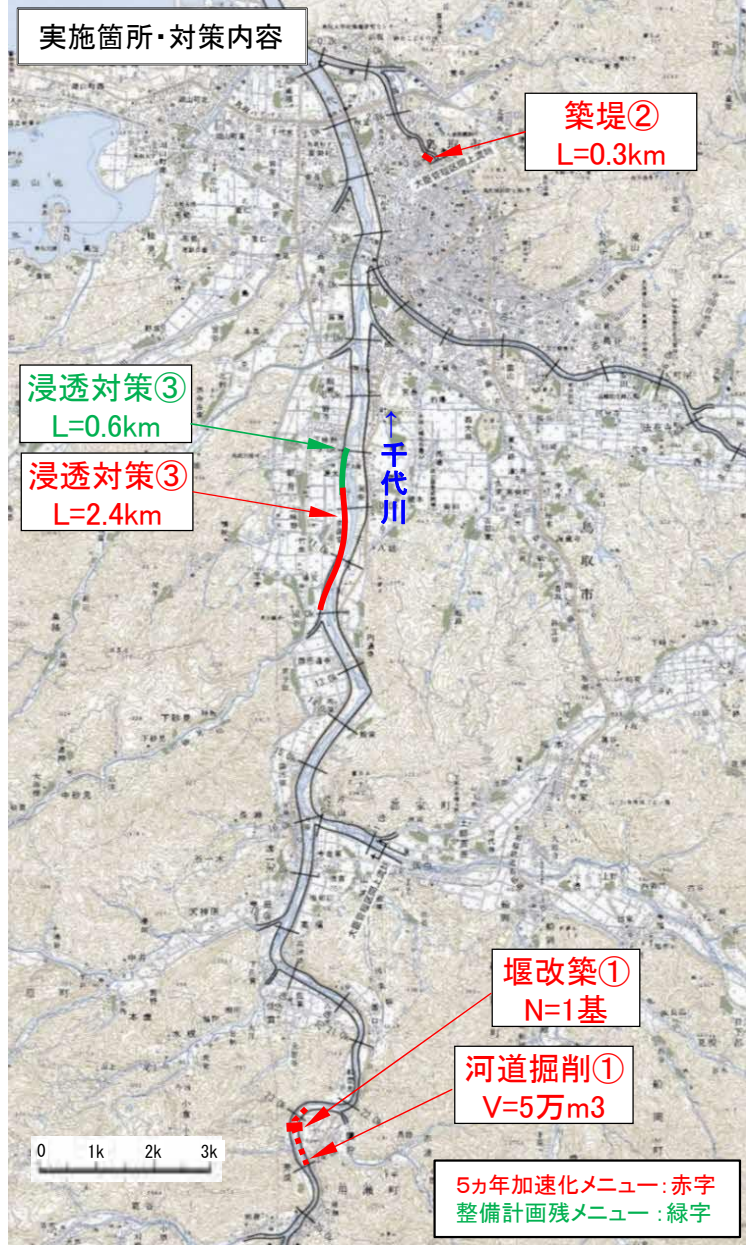
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
グリーンインフラの取組	千代川の氾濫を防ぐ堰改築に伴う、水生生物移動の継続的連続性の確保	鳥取河川国道事務所	美成地区	秋里・古海地区	佐貫・高福、和奈見・鷹狩地区
	千代川の氾濫を防ぐ河道掘削に伴う、生物の多様な生息環境の保全・再生	鳥取河川国道事務所	港町・浜坂地区	商栄・秋里、稲常地区	古海・古美成、別
	環境学習への場の提供 等	鳥取河川国道事務所	千代川・袋川・新袋川・八東川		
	県管理区間の氾濫を防ぐ河道掘削に伴う、生物の多様な生息環境の保全・再生	鳥取県	県管理区間全体の河道掘削		
	治山・砂防施設の整備に伴う、生物・景観に配慮した施設	鳥取県	治山・砂防施設の整備		
	浅場造成に伴う、生物・景観に配慮した護岸	鳥取県	湖山池の浅場整備		
	農地の保全に伴う、良好な景観、地域社会形成	鳥取県	流域全体		
	間伐等による森林整備に伴う、雨水の貯留・浸透による防災・減災	鳥取県、森林整備センター、鳥取森林管理署	間伐等による森林整備		
	準用河川及び普通河川の氾濫を防ぐ河道掘削・河川改良に伴う、生物の多様な生息環境の保全	鳥取市	小規模河川		
	洪水の流出を抑制する田んぼダムに伴う雨水の貯留による防災・減災	集落活動組織	大路川周辺地域、河内、稲常、向国安、里仁、 国府町美敷 、八東川周辺地域など、智頭町尾見、市瀬、 新見川周辺地域 など、土師川周辺地域など		

千代川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

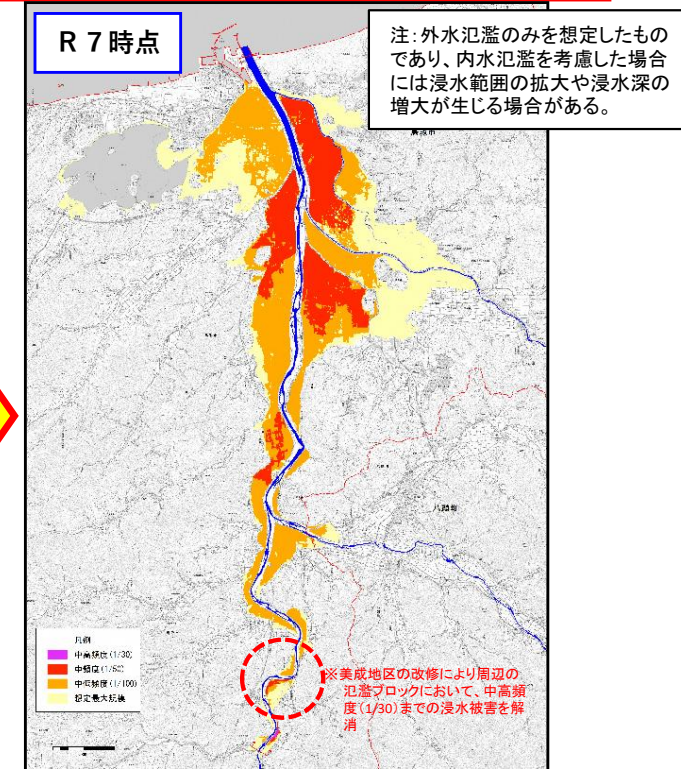
～流域の人々とともに因幡の治水対策を推進～

【短期完了時】美成地区の河道掘削、湯所地区の堤防整備のR7年度完了に伴い、戦後最大洪水のS54.10規模洪水から浸水被害を解消する。

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約81%→約100%



※外水氾濫のみを想定したものである。



※外水氾濫のみを想定したものである。

※国直轄事業の実施によるものである。

区分	対策内容	区間	工程	
			短期 (R3~R7年度)	
			R3	1/10→1/10
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削 0%→100%	①地区 (美成)	100%	
	堰改築等 0%→100%	①地区 (美成)	100%	
	堤防整備 0%→100%	②地区 (湯所)		100%
	浸透対策 0%→100%	③地区 (向国安)	80%	100%

【短期整備完了時の進捗】
 ①美成地区 河道掘削、堰改築 0%→100%
 ②湯所地区 堤防整備 0%→100%
 ③向国安地区 浸透対策 0%→80%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

千代川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～流域の人々とともに因幡の治水対策を推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：100%
（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



4市町村
（令和6年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設
（令和5年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 2箇所
（令和6年度実施分）
砂防関係施設の
整備数 4施設
（令和6年度完成分）
※施工中27施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村
（令和6年7月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 7河川
（令和6年9月末時点）
内水浸水想定
区域 1団体
（令和6年9月末時点）

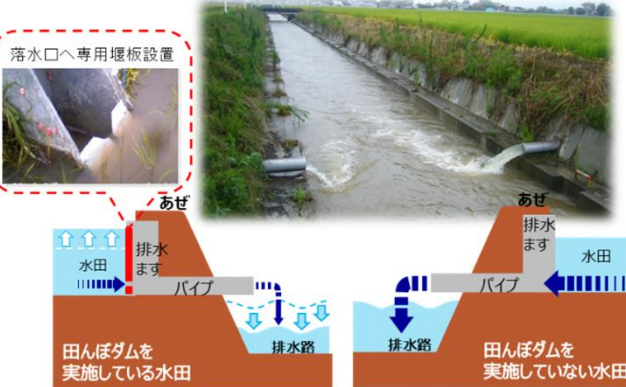
高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 204施設
土砂 61施設
（令和6年9月末時点）
個別避難計画 4市町村
（令和5年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

「田んぼダム」により洪水時の流出を抑制する



（活動の必要性及び概要）

鳥取市大路川周辺農地においては、過去の豪雨災害による住宅地の浸水を契機に地域活動として「田んぼダム」に取り組んでいる。

「田んぼダム」は、田んぼが元々持っている水を貯める機能を利用し、大雨時に田んぼに一時的に雨水を貯めることで、排水路や河川への流出を抑制し、洪水被害を軽減する地域でできる自主防災の取組として、平成26年度より取組が始まりました。

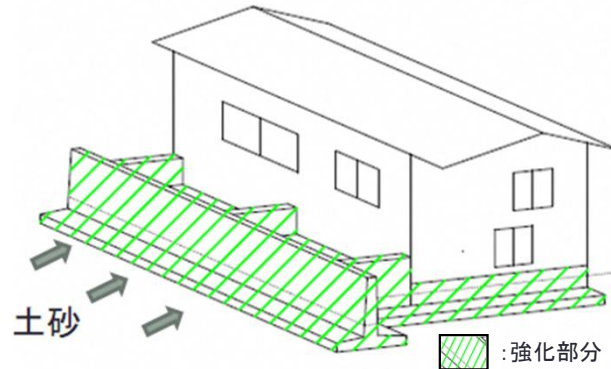
（期待される取組効果）

大雨時に田んぼに一時的に雨水を貯め、田んぼから時間をかけて少しずつ流すことで、河川・排水路が急激な水位上昇であふれるのを抑えたり、流域内の集落や農作物の浸水被害を抑えることができます。

被害対象を減少させるための対策

土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え支援

防護壁設置等により崩壊土砂に耐えられる構造に強化



（目的）

中山間地域では、高齢化が進む中、定住の意向を持つ方も多数居住されており、鳥取県では中山間地域における住民の安全・安心を確保するため、土砂災害特別警戒区域内に居住されている方を支援する取組を行っています。

（内容）

住宅建替え時に、土砂災害特別警戒区域外への移転が困難な方に対して、住宅の構造強化に係る経費を一部補助しています。

※千代川流域治水プロジェクトとして取り組んでいる内容となりますがページ上段の「立地適正化計画における防災指針の作成市町村数」との関連はありません。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

ハザードマップ等を活用した情報発信

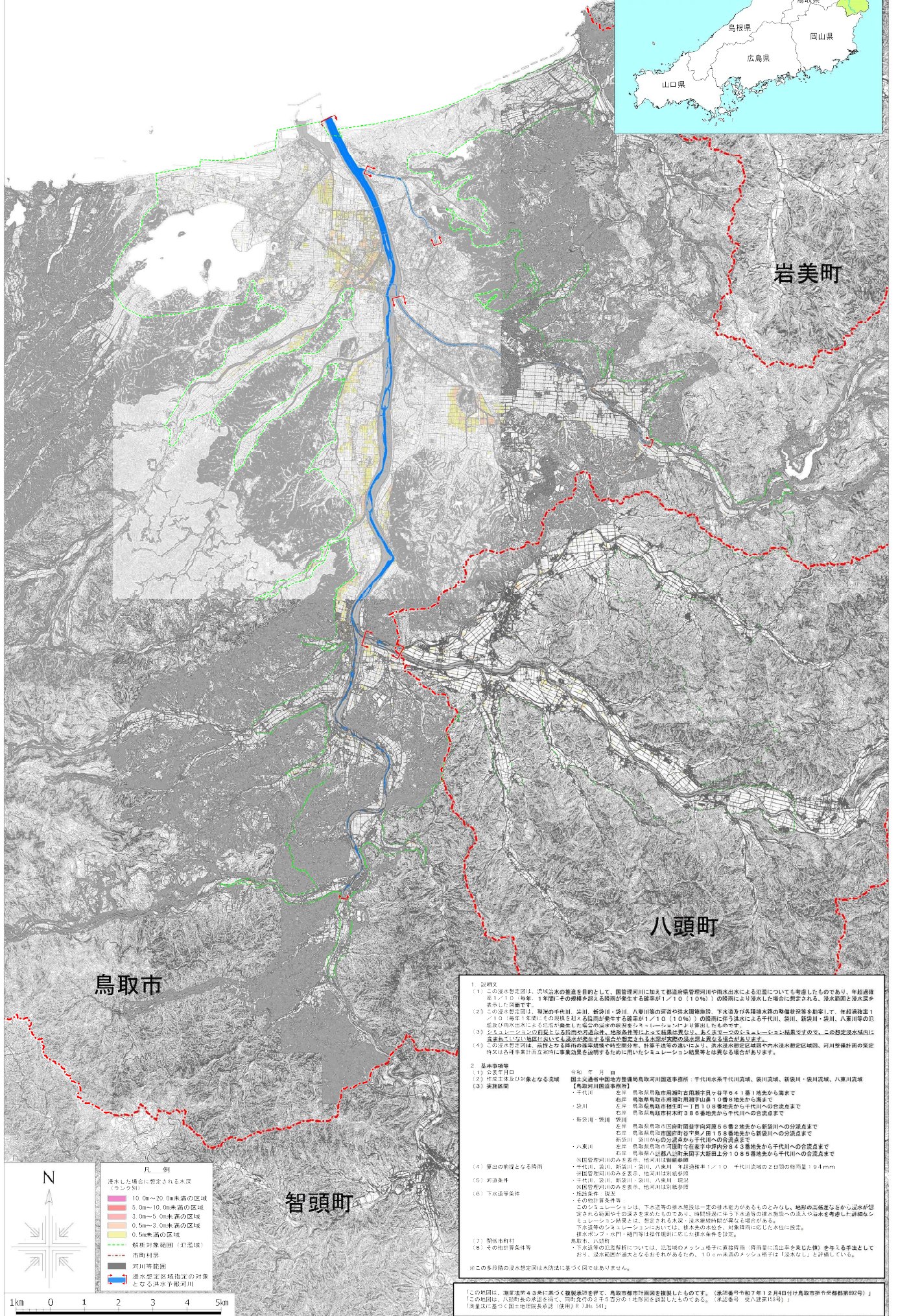


（目的）

鳥取市では、洪水、土砂災害、津波の危険地域などの情報を住民の皆様に分かりやすく提供することで、防災意識の向上や災害時に向けての事前の備えを心がけていただくことを目的に「総合防災マップ（2020年度保存版）」を作成しました。

この防災マップをご活用いただき、ご家庭、地域、職場等での「各種災害に対する避難計画」や「災害時の備え」などにお役立てください。

千代川水系 内外水統合の浸水想定図 (1/10規模降雨)



1 説明文

(1) この浸水想定図は、流域全体の浸水率を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年間浸水率1/10(毎年、1年間)の規模を想定する浸水率(1/10(10%))の浸水率により浸水した範囲に想定される、浸水範囲と浸水深さを表示した浸水想定図である。

(2) この浸水想定図は、現実の千代川、粟川、新保川、深川、八重川等の浸水や洪水種別施設、下水道及び各種排水施設の整備状況等を勘案して、年間浸水率1/10(毎年1年間)の規模を超える浸水が発生する浸水率(1/10(10%))の浸水率に併せて千代川、粟川、新保川、深川、八重川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が想定される浸水率(1/10(10%))の浸水率により浸水した範囲に併せて表示している。

(3) この浸水想定図は、現実の千代川、粟川、新保川、深川、八重川等の浸水や洪水種別施設、下水道及び各種排水施設の整備状況等を勘案して、年間浸水率1/10(毎年1年間)の規模を超える浸水が発生する浸水率(1/10(10%))の浸水率に併せて千代川、粟川、新保川、深川、八重川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が想定される浸水率(1/10(10%))の浸水率により浸水した範囲に併せて表示している。

(4) この浸水想定図は、現実の千代川、粟川、新保川、深川、八重川等の浸水や洪水種別施設、下水道及び各種排水施設の整備状況等を勘案して、年間浸水率1/10(毎年1年間)の規模を超える浸水が発生する浸水率(1/10(10%))の浸水率に併せて千代川、粟川、新保川、深川、八重川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が想定される浸水率(1/10(10%))の浸水率により浸水した範囲に併せて表示している。

2 基本事項等

(1) 公表年月日	令和 年 月 日
(2) 作成主体及び対象となる流域	国土交通省中国地方整備局鳥取河川国庫事務所：千代川水系千代川流域、深川流域、新保川・深川流域、八重川流域
(3) 実施箇所	【千代川】 左岸 鳥取県鳥取市丹波町吉用瀬字員ヶ谷641番1地先から海まで 右岸 鳥取県鳥取市丹波町吉用瀬字山原10番9地先から海まで 【粟川】 左岸 鳥取県鳥取市丹波町吉用瀬字山原10番9地先から千代川への合流点まで 右岸 鳥取県鳥取市丹波町吉用瀬字山原10番9地先から千代川への合流点まで 【新保川・深川】 左岸 鳥取県鳥取市丹波町吉用瀬字山原10番9地先から新保川への分派点まで 右岸 鳥取県鳥取市丹波町吉用瀬字山原10番9地先から新保川への分派点まで 【八重川】 左岸 鳥取県鳥取市丹波町吉用瀬字山原10番9地先から千代川への合流点まで 右岸 鳥取県鳥取市丹波町吉用瀬字山原10番9地先から千代川への合流点まで

(4) 算出の前線となる降雨

(5) 浸水想定

(6) 浸水想定区域指定の対象となる浸水干渉河川

(7) 関係関係等

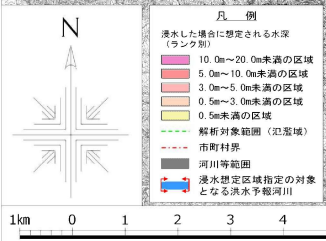
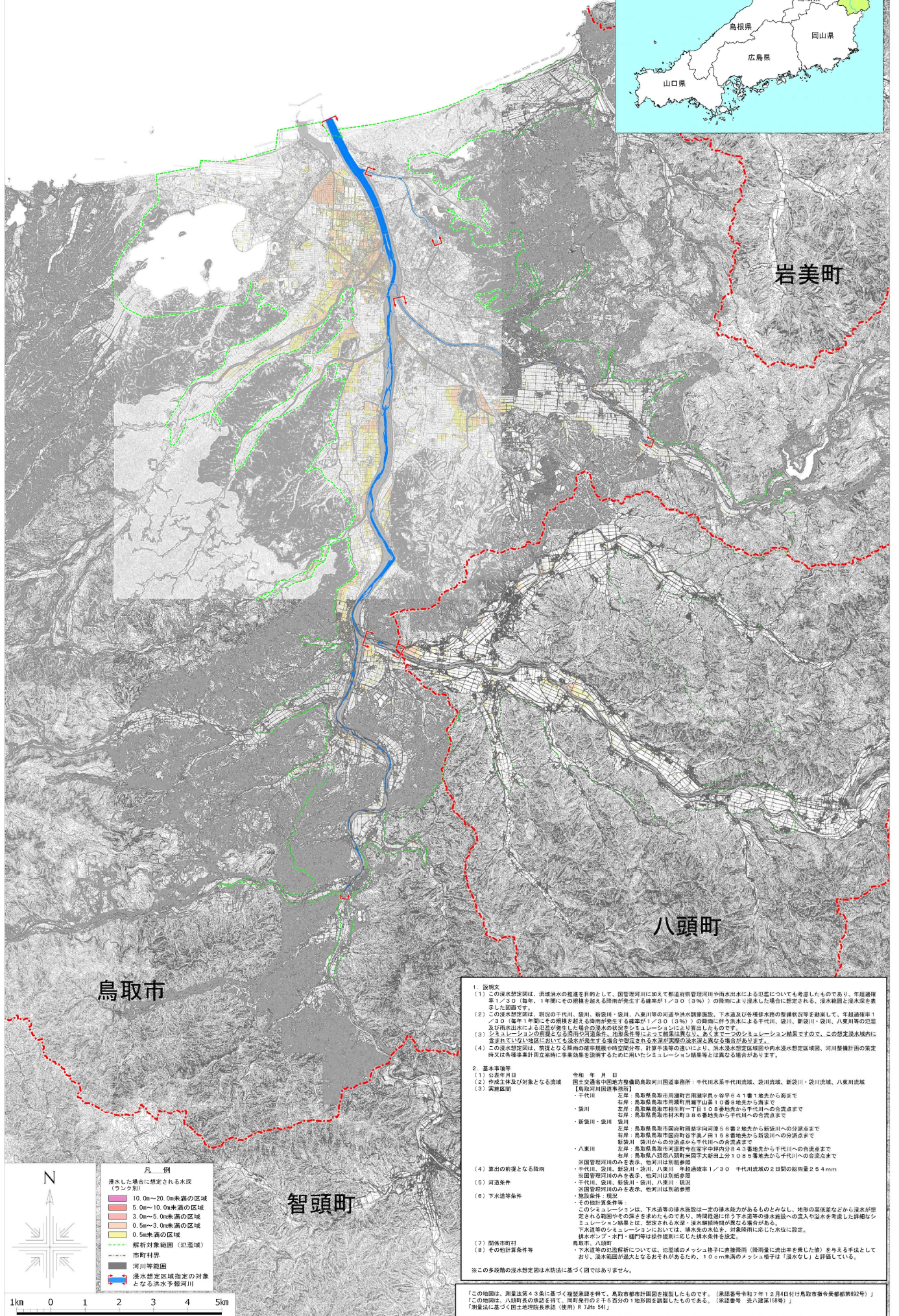
(8) その他計算条件等

※この浸水想定図は、現実の千代川、粟川、新保川、深川、八重川等の浸水や洪水種別施設、下水道及び各種排水施設の整備状況等を勘案して、年間浸水率1/10(毎年1年間)の規模を超える浸水が発生する浸水率(1/10(10%))の浸水率に併せて千代川、粟川、新保川、深川、八重川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が想定される浸水率(1/10(10%))の浸水率により浸水した範囲に併せて表示している。

【この地図は、測量法第43条に基づき複製承認を得て、鳥取市都市計画図を複製したものです。(測量法第43条第1項第1号鳥取市都市計画図第692号)】
 【この地図は、八咫町の承認を得て、測量法第43条第1項第1号鳥取市都市計画図を複製したものです。(測量法第43条第1項第1号鳥取市都市計画図第692号)】
 【測量法に基づき国土院院長承認(使用)R.7.16.541】

千代川水系 内外水統合の浸水想定図 (1/30規模降雨)

位置図



1. 説明文
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に絡めて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年間降雨量1/30(毎年1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30(3%)の降雨)に伴う洪水による千代川、新代川、新代川・袋川、新代川・袋川、八東川等の氾濫を示した図面です。
 (2) この浸水想定図は、既往の千代川、袋川、新代川・袋川、八東川等の河川と洪水調節施設、下水道及び各種排水施設の整備状況等を調査して、年間降雨量1/30(毎年1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30(3%)の降雨)に伴う洪水による千代川、新代川・袋川、新代川・袋川、八東川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況を示シミュレーションにより算出したものです。
 (3) シミュレーションの前提となる降雨は、気象庁等によって発表されたものであり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この想定浸水区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する可能性や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
 (4) この浸水想定図は、既往となる降雨の確率規模や時間分析、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定状況は各種事業計画立案時に事業効果を示明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和 年 月 日
 (2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中国地方整備局鳥取河川国選事務所 千代川水系千代川流域、袋川流域、新代川・袋川流域、八東川流域
 (3) 実施区域 【鳥取河川国選事務所】
 ・千代川 右岸：鳥取県鳥取市南瀬野古用瀬字山第641番1地先から海まで
 左岸：鳥取県鳥取市南瀬野古用瀬字山第10番8地先から海まで
 ・袋川 左岸：鳥取県鳥取市南瀬野古用瀬字山第10番8地先から千代川への合流点まで
 右岸：鳥取県鳥取市南瀬野古用瀬字山第3番8地先から千代川への合流点まで
 ・新代川・袋川 袋川 鳥取県鳥取市南瀬野古用瀬字山第5番5地先から新代川への分岐点まで
 右岸：鳥取県鳥取市南瀬野古用瀬字山第15番8地先から千代川への合流点まで
 新代川 袋川からの分岐点から千代川への合流点まで
 ・八東川 左岸：鳥取県鳥取市南瀬野古用瀬字山第43番地先から千代川への合流点まで
 右岸：鳥取県八頭町八頭町大字新田上分10番5地先から千代川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨 ※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
 千代川、袋川、新代川・袋川、八東川 年間総降雨量1/30 千代川流域の2日間の総降雨量2.54mm
 ※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照

(5) 河川条件 ※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
 ・施設条件：現況
 ・施設条件：現況
 ・その他計算条件等
 このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとし、地盤の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や浸水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深、浸水継続時間が異なる場合があります。
 下水道等のシミュレーションにおいては、排水能力の不足を、対象河川に合わせた水位に設定、排水ポンプ・水門・樋門等は仕様規則に応じた排水条件を設定。

(7) 国管理河川 鳥取市、八頭町
 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が拡大となるおそれがあるため、1.0cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。

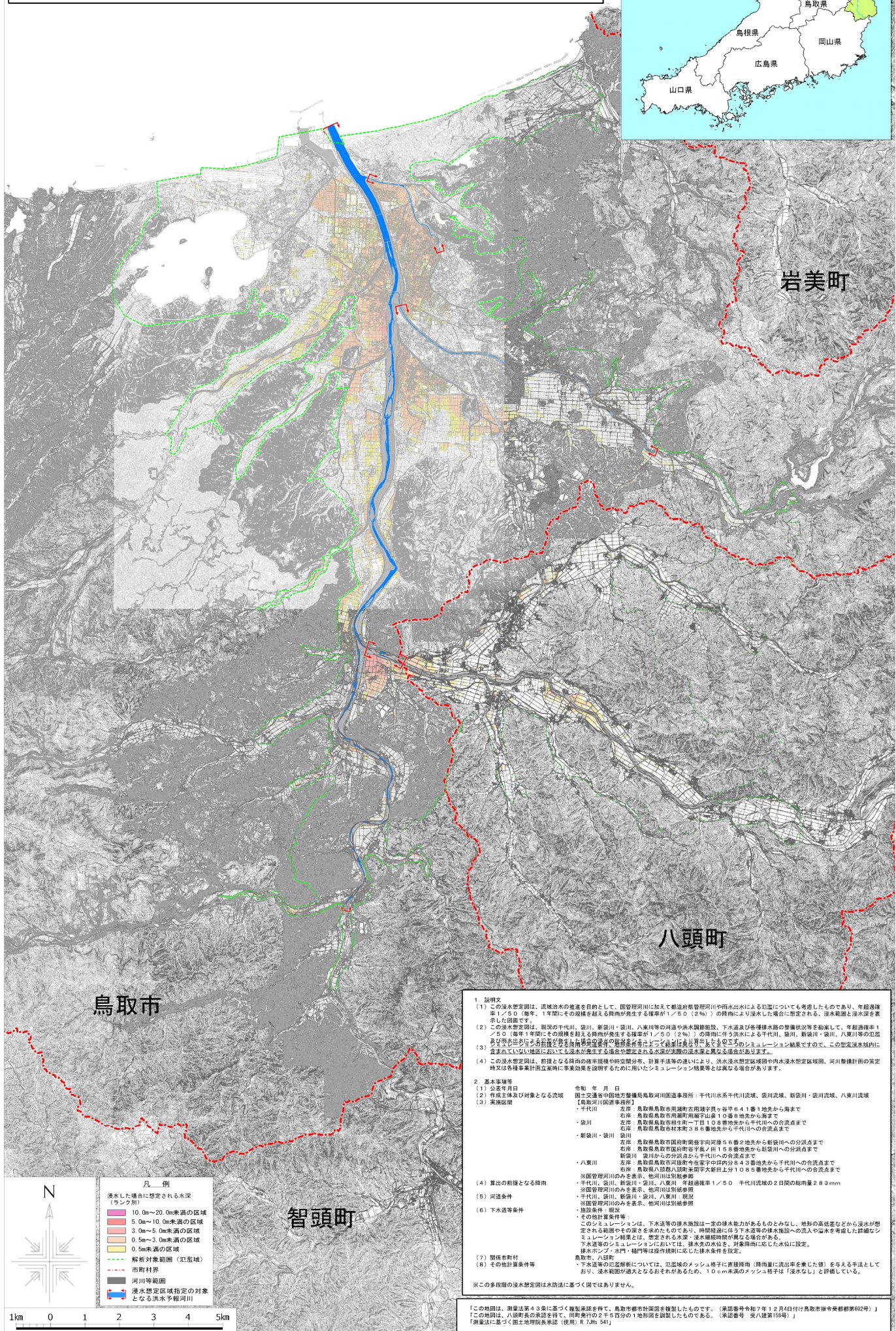
(8) その他計算条件等

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づいたものではありません。

【この地図は、測量法第43条に基づく複製を認めて、鳥取市都市計画課に複製したものです。(承認番号令和7年12月4日付鳥取市指令承認第692号)】
 【この地図は、八頭町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1地形図を複製したものである。(承認番号 安人建第158号)】
 【測量法に基づく(国土地理院承認(使用)R.7.附:54)】

千代川水系 内外水統合の浸水想定図 (1/50規模降雨)

位置図

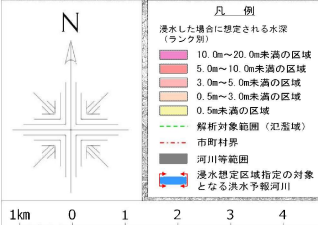


鳥取市

岩美町

八頭町

智頭町



1. 説明文
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過降雨率1/50(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/50(2%))の降雨により浸水した場合に想定される浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2) この浸水想定図は、指定の千代川、袋川、新袋川、袋川、八東川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水施設の整備状況等を勘案して、年超過降雨率1/50(毎年1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う浸水による千代川、袋川、新袋川、袋川、八東川等の氾濫と多量雨水出水による氾濫とを無条件に併発させた場合とを前提として作成したものであります。
 (3) 氾濫想定図は、指定の千代川、袋川、新袋川、袋川、八東川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水施設の整備状況等を勘案して、年超過降雨率1/50(毎年1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う浸水による千代川、袋川、新袋川、袋川、八東川等の氾濫と多量雨水出水による氾濫とを無条件に併発させた場合とを前提として作成したものであります。
 (4) この浸水想定図は、前提となる降雨の降雨規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域や内水浸水想定区域、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和 年 月 日
 (2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所・千代川水系千代川流域、袋川流域、新袋川・袋川流域、八東川流域
 (3) 実施区域 【鳥取河川国道事務所】
 ・千代川 左岸：鳥取県鳥取市用瀬町市前選挙区(谷戸641番1地先から海まで)
 右岸：鳥取県鳥取市用瀬町山崎10番8地先から海まで
 ・袋川 左岸：鳥取県鳥取市市前町一丁目10番地先から千代川への合流点まで
 右岸：鳥取県鳥取市市前町38番地先から千代川への合流点まで
 ・新袋川・袋川 左岸：鳥取県鳥取市市前町字宇田河原5番2地先から新袋川への分岐点まで
 右岸：鳥取県鳥取市市前町字長ノ田15番地先から新袋川への分岐点まで
 ・八東川 左岸：鳥取県鳥取市市前町字宇田河原5番2地先から千代川への合流点まで
 右岸：鳥取県八頭町美野字大新田上分1085番地先から千代川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨 ※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
 ・千代川、袋川、新袋川・袋川、八東川 年超過降雨率1/50 千代川流域の2日間の総雨量283mm
 ※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照

(5) 河道条件 ・千代川、袋川、新袋川・袋川、八東川 縦断
 ※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照

(6) 下水道等条件 ・接続条件：縦断
 ・その他計算条件等
 このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとし、地盤の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や雨水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される浸水深、浸水継続時間が異なる場合があります。
 下水道等のシミュレーションにおいては、排水流の発生を、対象河川に合わせた水位に設定し、排水ポンプ・決門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

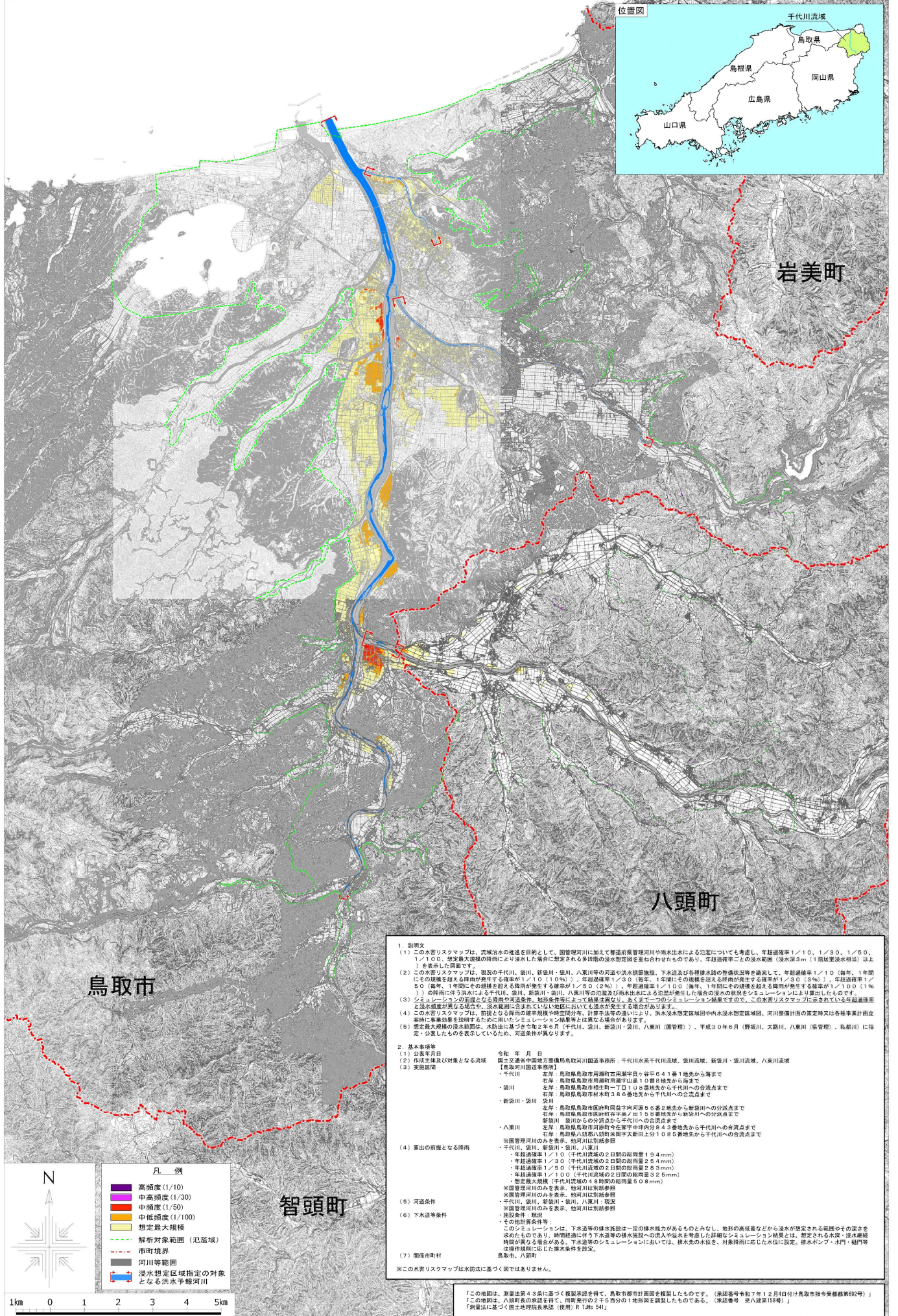
(7) 関係市町村 鳥取市、八頭町
 この浸水想定図については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量)を乗じた値を有する手法としており、浸水範囲が適大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と詳細している。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

【この地図は、測量法第43条に基づく複製承認を得て、鳥取市都市計画課で複製したものです。(承認番号令和7年12月4日付鳥取市都市計画承認第692号)】
 【この地図は、八頭町長の承認を得て、関係業体の2千5百分の1地割図を複製したものです。(承認番号 安八第製158号)】
 『測量法に基づく国土地理院承認(使用 R 7.4h 54)』

千代川水系 内外水統合の水害リスクマップ（浸水深3m以上）

位置図



- 1. 説明文**

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や湧き水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深3m（1階建浸水範囲）以上）を表示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、観測の千代川、袋川、新袋川・袋川、八東川等の河川や洪水調節施設、下水道及び保水機能火災の整備状況等を踏まえて、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/10（10%）、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30（3%）、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う浸水による千代川、袋川、新袋川・袋川、八東川等の氾濫及び湧き水による氾濫を想定した場合の浸水の浸水深シミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や気象条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水深が異なる場合、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。

(4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の降雨年数・時間配分、計算手法の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

(5) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和2年6月（千代川、袋川、新袋川・袋川、八東川（舊管理））、平成30年6月（野坂川、大路川、八東川（新管理）、私割川）に指定・公表したものを表示しているため、河川条件が異なります。
- 2. 基本事項等**

(1) 対象年月日	令和 年月日
(2) 作成主体及び対象となる流域	国土交通省中国地方整備局鳥取河川国事務所：千代川水系千代川流域、袋川流域、新袋川・袋川流域、八東川流域
(3) 実施区域	【鳥取河川国事務所】 千代川 左岸：鳥取県鳥取市用瀬町吉用瀬字目々谷平641号1地帯から海まで 右岸：鳥取県鳥取市用瀬町用瀬字山原10番8地帯から海まで 袋川 左岸：鳥取県鳥取市船生町一丁目10番地帯から千代川への合流点まで 右岸：鳥取県鳥取市船生町10番地帯から千代川への合流点まで 新袋川・袋川 左岸：鳥取県鳥取市国府町国府字河原5番8地帯から新袋川への分岐点まで 右岸：鳥取県鳥取市国府町国府字須賀10番8地帯から千代川への合流点まで 八東川 左岸：鳥取県鳥取市河野町河野字中野内4番4番地帯から千代川への合流点まで 右岸：鳥取県八頭郡八頭町八頭字大新田上分1085番地帯から千代川への合流点まで
- 4. 算出の前提となる降雨**

千代川、袋川、新袋川、八東川	※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
・年超過確率1/10（千代川流域の2日間の総雨量194mm）	・年超過確率1/30（千代川流域の2日間の総雨量254mm）
・年超過確率1/50（千代川流域の2日間の総雨量283mm）	・年超過確率1/100（千代川流域の2日間の総雨量325mm）
・想定最大規模（千代川流域の48時間の総雨量508mm）	

※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
千代川、袋川、新袋川・袋川、八東川、私割川
※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
- 5. 河川条件**

千代川、袋川、新袋川・袋川、八東川、私割川
※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
- 6. 下水道条件**

千代川、袋川、新袋川・袋川、八東川、私割川
※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
- 7. 関係市町村**

鳥取市、八頭町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

【この地図は、測量法第43条に基づく複製承認を得て、鳥取市都市計画部を複製したものです。（承認番号令和7年2月4日付け鳥取市指令部第692号）】
【この地図は、八頭町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1地形図を複製したものである。（承認番号 変八第158号）】
【測量法に基づく国土地理院長承認（使用 R 7.4.54）】